

## ～ 電信通り有機のまち事業 ～

地域住民のニーズに応じて地元産有機野菜を販売。併せてオーガニックセミナーの開催や集客のためのスタンプラリーを実施。近隣在住の高齢者や子育て世代の利便性の向上につながり、継続的な顧客の獲得等集客の増加に結びついた。

所在地：北海道帯広市東4条南6-2  
 TEL：0155-24-6922 FAX：0155-25-0550  
 URL：<http://www.denshindoori.com/>  
 組合員数：42名  
 商店街の類型：地域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

帯広駅から北東方向に約1.5km、市の中心部からは徒歩約15分に位置し、街区は大通り南から東4条南中通りまでの約450mと長く、明治30年商店街に初めて電信柱が立ったことに因み「電信通り」と称している。商店街では、これまで食用廃油回収サービスなどの事業に取り組んできたが、空き店舗や空き地が散見され、イベント時には来街者が増加するものの普段の来街は少なく、魅力のある商品の販売や集客のためのサービス事業が必要であると痛感していた。そこで本事業では、地域住民のニーズが高い安心安全を考慮した有機農産物の販売等とそれに連動したスタンプラリーを行うことで活性化を目指した。



## 実施した事業の概要

## ①有機野菜&amp;秋フェス2014の開催

商店街が販売する有機農産物販売のPRを行うため、来街者に商店街マップを配布し、商店街各店舗から特産品やおすすめメニューなどの出店によるイベントを行った。

## ②有機農産物販売

十勝管内の農業者が生産している無農薬・無化学肥料の野菜（JAS有機認定）を販売する拠点を会員店舗の一角に作り、毎週一回試験販売を行った。有機農産物には安心安全なイメージがあり、子育て世代等の消費者ニーズはあるものの、消費者の手まで十分に届いていないのが現状である。そこで、本事業では有機農産物の販売により新規顧客を獲得し、「有機農産物を買うなら電信通りで」といった新たなイメージの定着を目指した。また、商店街全店によるスタンプラリーを実施し、秋フェス会場において抽選によりオーガニック商品のセットを景品として提供した。

## ③有機農産物セミナー開催

有機農産物や食育に対して興味があり商店街へのニーズが強い住民を対象に、十勝管内の有機農業者や有機農産物の加工業者を講師に迎え、住民の有機農産物に対する正しい理解と商店街での販路拡大を目的にセミナーを開催した。

## ④アンケート調査

有機農産物の提供を行う「有機のまち電信通り」のイメージ定着に向け、イベント時にアンケート調査を行い、今後の継続的な顧客の獲得や各事業の実施における集客性や収益性を高めるための検討を行った。



## 成果と成功の要因



有機野菜祭&秋フェスを実施し、有機農産物の販売や地域住民のニーズが強かった有機野菜セミナーの開催を行ったことで、「有機農産物を買うなら電信通りで」といったイメージを浸透させることができた。このことにより、今後、安心安全な有機農産物の普及につながることを期待され、商店街の近隣の高齢者の生活利便性が向上する端緒となったと思われる。また、商店街マップの配布、スタンプラリーの実施により商店街の認知度が高まった。

今回の事業成功の要因としては、若手経営者や女性経営者で構成する成年交流会が中心となって有機野菜の出店、スタンプラリーの運営、商店街

マップの企画を担ったこと、及び有機野菜の製造から販売を行っている有機農産物販売会社や帯広畜産大学発のベンチャー企業等の協力によるところが大きかったものと考えている。

## 今後の取り組み

平成22年より社会福祉法人やNPO法人とコンソーシアムを組んで空き店舗対策等を行っており、今回の有機農産物販売会社とも引き続き協力関係を維持し事業を継続していく予定である。

事業資金については、商店街支援会社として商店街の役員と若手により起業した電信通り商店街のまちづくり会社「(株)でんしん」にて収益事業を行っており、そこからの収益を賦課金として吸収し、今後の商店街活動の財源とする予定である。